

事業案 環境

学ぶ

- ・クラブでリサイクル施設や廃棄物管理施設を視察する。

行動する // 初級

- ・ **植樹を行う。地元の環境当局に相談し、必要な樹木の種類と数、植樹の場所を決める。**
- ・ 毎月集まり、クラブとして浜辺、公共の場所、道路沿いの清掃活動を行う。
- ・ 地元の学校で環境をテーマにした写真コンテストを開催する。勝者を称えて植樹を行うなど、環境を焦点とした形で表彰する。
- ・ 日常生活に環境に配慮した習慣を一つ以上取り入れるよう、クラブや地区の全ライオンズに呼びかける。ソーシャルメディアで自分の習慣を紹介することで、他者の意欲をかき立てる。こうした習慣としては以下が挙げられる。
 - 使い捨てではなく、再利用のできる水ボトルやコーヒーカップを使用する。
 - 省エネ電球に変える。
 - シャワーの制限時間を設けて水を節約する。
- ・ 環境に配慮した生活のヒントをまとめたシートを作り、ネットで地域住民や知り合いと共有する。
- ・ 環境保全に取り組んだ地域団体や地域社会のリーダーを表彰する。
- ・ ネット上の計算サイトで自分の二酸化炭素排出量を計算する。自分の排出量が希望している量よりも大きく、その量を減らしたい場合は、ゴールドスタンダード認証の炭素クレジットを購入し、自分の排出量を減らす方法について考える。
- ・ 地元の公園担当当局でボランティアを行い、遊歩道のメンテナンスを行う。利用者の増加に貢献できるだけでなく、自然を楽しむことができる！
- ・ 毎週月曜日、または別の曜日を「肉を食べない日」にする。
- ・ 中古の携帯電話を集めて、必要としている人々に寄付する。

行動する // 中級

- ・ 学童を放課後の自然散策に連れていく。自然を観察して質問するよう促し、その後で体験を絵に描いてもらう。
- ・ 環境に関する映画やドキュメンタリーの地域上映会を開く。
- ・ 流し台、共用の蛇口、噴水式水飲み場などで水漏れがないか、自宅と地域を調べることで、水を節約する。修理が必要であれば関連当局に連絡する。
- ・ 市の職員と協力し、道路の側溝付近に「ゴミ捨て禁止」とペンキで塗った看板を立てる。
- ・ 有害物をリサイクルする場所を確認し、収集運動のスケジュールを周知/宣伝する。
- ・ **環境壁画コンテストを主催する。勝者の絵を適切な場所にペイントし、地域の美化と環境への認識向上に役立てる。**
- ・ 地域リサイクル運動を実施し、状態の良い中古品を人々から慈善団体に寄付してもらう。
- ・ 地元の学校で生徒と食事をともにする。その後、リサイクルできるものとゴミを分別する方法を生徒に教える。

行動する // 上級

- ・ 自生植物種を使った展示ガーデンや造園区画を設けて、地元の生息環境の回復と水の保全を奨励する。
- ・ 小規模農家を対象とした研修プログラムを主催し、有機の肥料・殺虫剤を作り利用する方法について学んでもらう。
- ・ 毎月自然についての番組を制作し、地元の公共ラジオ局で流す。地元の関心が高い環境トピックを取り上げ、地域の環境活動家のインタビューを行い、ライオンズの環境事業をPRする。
- ・ 地域で物議をかもしている環境問題について公開討論会を開く。その結果を政府職員に伝える。
- ・ 地元の大工と提携し(またはDIYのチュートリアルを利用し)、天水桶を作る。次に地域住民の研修を行い、水やりと灌漑に桶を利用するよう奨励する。
- ・ 地域で別の交通手段の利用を動機付けるプログラムを実施し、徒歩、自転車、公共交通機関の使用や自動車の相乗りを呼びかける。
- ・ 地元の学校と協力し、学校に有機菜園や堆肥化プログラムを設けることで、給食の質を高めゴミを減らす。